

# **エコアクション21 2022年度 環境経営レポート**

対象期間:2022年 5月 1日 ~ 2023年 4月30日



発行日 : 2023年 5月31日

**東和電気工事株式会社**

## ○ 御挨拶

昭和48年（1973年）に兵庫県姫路市で創業して以来、  
お客さまとともに歩んでまいりました。

「先義後利」 我社の経営理念です。

創業より変らぬ思いのままに、さまざまな電気工事を通じて  
お客様にそして社会に貢献する会社でありたいと考えております。

今まで以上に技術力を向上させ、新たな分野にも挑戦してまいります。  
宜しく願いいたします。

東和電気工事株式会社  
代表取締役 三和 敬典

## 環 境 経 営 方 針

### <環境理念>

#### 〔基本理念〕

空気や水の浄化設備に「電気工事」で携わっている我々東和電気工事株式会社は、環境の改善に  
真剣に取り組む、微力ながら地球環境に良いことを常に考え行動する。

また、上記理念を達成するために下記のスローガンを定める。

「子どもたちに残そう、青い海と緑の森」

#### 〔行動指針〕

1. 東和電気工事株式会社における活動に関連し、環境経営システムを構築して、次の事項を重点的  
なテーマとし、継続的に改善に取り組みます。
  - ①CO<sub>2</sub>排出量（特に電気や化石燃料の節約による）を削減する。
  - ②廃棄物分別を徹底し、排出量を削減する。
  - ③水の使用量を削減する。
  - ④建設工事を受注し、環境負荷の軽減を推進する。
  - ⑤環境に配慮した施工計画を提案する。
2. 環境保全に関わる法令・規則・条例等を遵守します。
3. 環境経営レポートを作成し、環境取組の状況を公表します。

制定日：2009年 9月30日

改定日：2023年10月24日

代表取締役 三和 敬典

○ 対象事業所の概要

- (1) 事業所名及び代表者名  
東和電気工事株式会社  
代表取締役 三和 敬典
- (2) 所在地  
本社：兵庫県姫路市飯田2-51-1  
営業所：大阪府八尾市久宝園2-31-42
- (3) 環境管理責任者氏名  
責任者 一宮正人 TEL：079-234-1020
- (4) 事業内容  
各種電気設備工事の設計・施工
- (5) 事業の規模  
売上高 約12.08億円

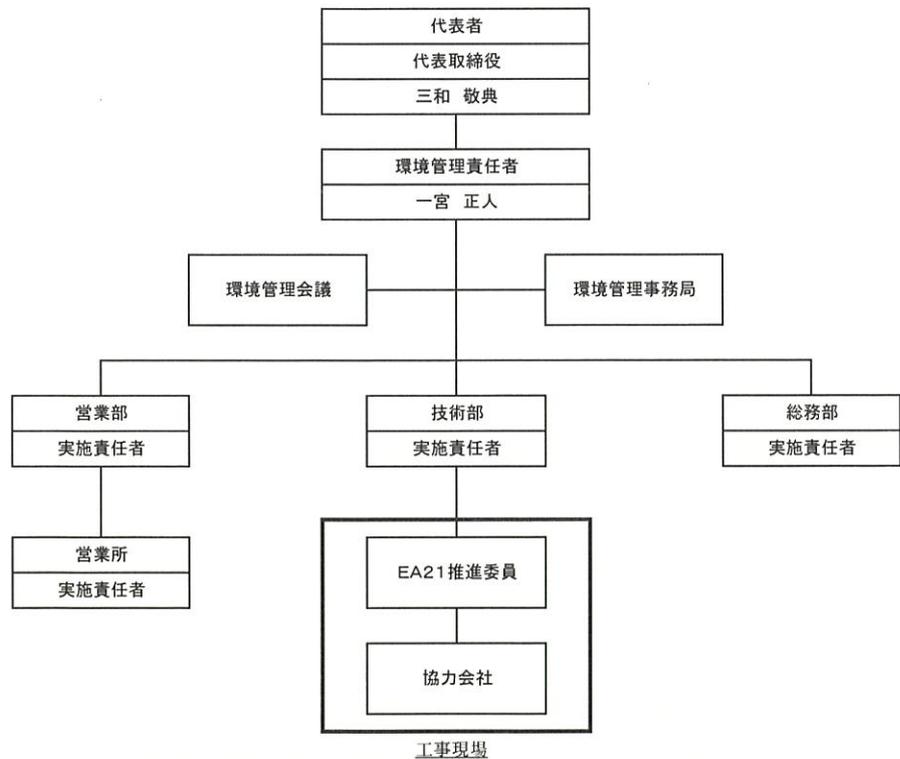
	本 社	営業所
従業員	18名	1名
延床面積	264.1㎡	80.9㎡

- (6) 事業年度 5月～4月

○ 認証・登録の範囲

認証・登録事業者名 東和電気工事株式会社  
 対象事業所 本社、大阪営業所  
 事業活動 各種電気設備工事の設計・施工

○ EA21実施体制図



○ 2022年（今年度）を含む過去3年の主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年	2021年	2022年 (今年度)
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	27,350	23,315	26,027
水使用量 (2018年以前は総排水量)	m <sup>3</sup> /年	88	80	64
一般廃棄物排出量	t/年	0.48	0.36	0.31
産業廃棄物排出量	t/年	3.90	3.12	3.30
廃棄物排出量合計	t/年	4.38	3.48	3.61

○ 環境目標及びその実績

No.	項目	年度	2019年	2022年		2023年	2024年
			(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
①	二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年・人	1,526	1,496	1,370	1,481	1,466
②	廃棄物排出量 (一般廃棄物+産業廃棄物)	t/年	4.79	4.69	3.61	4.64	4.59
③	水使用量 (2018年以前は総排水量)	m <sup>3</sup> /年・人	4.77	4.67	3.37	4.62	4.57
④	一般廃棄物排出量の削減 (コピー用紙の再利用)	新品使用量のn% 削減	10	10	10.50	10	10
⑤	建設現場での環境負荷の低減 (管理の徹底)	件/年	12	12	13	12	12
⑥	エコケーブル使用の提案	件/年	12	12	12	12	12

注1) 購入電力の排出係数は0.334kg-CO<sub>2</sub>/kWh(2018年度・関西電力・調整後)を用い、CO<sub>2</sub>排出量を算出しています。

○ 2022年度環境活動の取組計画と評価

目標とその実績について、評価を行いました。

取組計画	達成状況		単位 基準年度比	判定	評価（結果と今後の方向）
	基準年度	実績			
CO2排出量の削減 ・電気使用量の節約 ・化石燃料の節約	基準年度	1,526	kg-CO <sub>2</sub> /人 89.78%	○	・昨年度より元請現場事務所の電気使用量を加算しているが電気使用料の総量は削減することが出来た。 ・来年度はガソリン使用量を削減を心がけること。
	目標	1,496			
	実績	1,370			
廃棄物排出量の削減 ・廃棄物分別の徹底 ・分別箱の整備	基準年度	4.79	t	○	・客先側で有価物として処理されることが増えてきた。 ・今年度と同様に取組みを進めること。
	目標	4.69			
	実績	3.61			
廃棄物排出量の削減 ・紙製品の再利用 ・裏面コピーの励行	基準年度	使用量の10	%	○	・社内書類は裏面コピーが定着している。 ・客先提出書類は新規用紙を使う為、全体のバランスをとりたい。 ・今年度と同様に取組みを進めること。
	目標	使用量の10			
	実績	使用量の10.50			
水使用量の削減 ・貯めた水での洗浄 ・雨水の再利用	基準年度	4.77	m <sup>3</sup> /人 70.65%	○	・30%近い削減が出来た。 ・今年度と同様に取組みを進めること。
	目標	4.67			
	実績	3.37			
建設現場での環境負荷の軽減 ・現場パトロールの実施 ・産廃の分別管理の徹底	基準年度	12件		○	・9月に集中して現場パトロールを行った。 ・令和4年末と令和5年年初は感染拡大により自粛した。
	目標	現場パトロールを毎月1件実施する			
	実績	13件			
エコケーブル使用の提案 ・設計提案時にEMケーブルを提案する	基準年度	12件		○	・環境に配慮した計画提案を継続実施する。 ・今年度は12件を行った。 ・今年度と同様に取組みを進めること。
	目標	毎月1件提案する			
	実績	12件			
<b>総括</b> ・CO <sub>2</sub> 排出量の削減について 今年度は遠方の現場への移動が多くなったことに伴い、ガソリン使用量が想定より増加した。 電気使用量を削減したため、CO <sub>2</sub> の削減目標は達成できた。					

注) 判定基準について

○：目標達成 △：目標未達成（計画値+10%以内） ×：目標未達成

○ 環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物資・事業活動等）	評価
廃棄物処理法	産業廃棄物処理業者と委託契約 マニフェストの交付・保管	順守
建設リサイクル法	発注者への書面による計画説明 分別解体 再資源化等の促進 再生資源の使用	順守
消防法	消防設備の点検	順守
自動車排出NO <sub>x</sub> ・PM法	工事に使用する車両	順守
70 <sup>+</sup> 排出抑制法	業務用エアコンに対する簡易点検の実施・記録の保管	順守
自動車リサイクル法	保有車両の適正処分	順守
家電リサイクル法	テレビ・冷蔵庫・エアコン等の適正処分	順守

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反指摘は過去3年間ありません。提訴事案もありません。

○ 代表者による評価と見直し

- ・元請作業所の電気使用量の削減も作業環境に配慮しながら取り組みたいと考えています。
- ・今年度は県外の現場が多かったこともあり、ガソリン使用量が増加しました。  
CO2の排出量については電気使用量が削減できたので、目標達成ができたと思います。
- ・今年度は昨年度同様に新型コロナウイルス感染症が収束しない中での企業活動になりました。  
工事工程に大きな遅延は発生しませんでした。その点は通常通りでした。

○ 次回の環境経営レポート発行予定

令和6年5月発行予定

○ その他 取り組みを紹介



会社周囲の清掃活動



環境会議(講習)



社内パトロール実施状況